

国語科	本校	広島県	全国
	75.0	66.0	63.8

## 課題

正しい漢字を選んで文を書くことができていない。  
 文と文のつながりを表す語や段落のまとめや文章の結論などを的確にとらえて読むことに課題がある。言葉や条件に合わせて書くことが難しい。  
 問題の意味を把握することができていない。2文に分けて書くことに課題がある。  
 選択肢のキーワードや本文の言葉を比べて読むことに課題がある。一部分しか読めていないことが課題である。

## 改善策

漢字の練習の際に、ドリルや教科書に使われている読み方や使い方以外のものも、実態に応じて指導していく。条件を付加した作文指導に力を入れる。  
 「このように」、「このことから」などの言葉を見付け、印を付けて文章の内容を読んだり、文末表現に注意して文章を書いたりする力を付けていく。  
 相手に分かりやすくするために、2文に分けて書くよう指導する。  
 普段の授業の中で友だちの意見を聞くときに自分の意見と比較しながら聞いたり、複数の情報を読むときに、情報同士を関連付けながら読んだりするよう指導する。

算数科	本校	広島県	全国
	76.0	68.0	66.6

## 課題

- ・問題の読み取りができていない。
- ・例を生かした解答ができていない。
- ・算数用語を使っの記述ができにくい。
- ・既習の内容が定着していない。(計算のきまり、台形の定義など)

## 改善策

- ・問題文を読んで大事なところに線を引いたり、必要のない数字を消去したりするなどの書き込みをする。(低学年から、習慣化させる。)
- ・問題を解いた根拠を式だけでなく、図や言葉によって説明させたり、ノートに書かせたりする。
- ・算数用語を使った授業での説明、まとめ、ノート作り、振り返りを行う。また、教室掲示を行うことによって、いつでも視覚的に目に入りやすいように環境を作る。
- ・活用問題をするときには、記述式の問題を取り入れる。
- ・自力解決の時、問題把握をするために、絵や図をつかって整理しながら考えさせる。
- ・問題解決の時、帰納法、演繹法、類推法を使い、いろいろな手立てで解かせる。(多様な解き方を認める。)